

終了しました

ありがとうございました～

- いため土石流などが発生しやすく、河川への土砂の流入が昭和30年代から続いた結果災害が多くなった。政治の責任ではないか。

財政に関する意見等

- ① 村からの各種団体等への補助助成金は、まだまだ多すぎると思う。
- ② 今後将来にわたる国からの地方交付税交付金はどうなるのか。
- ③ 公債費について、現在の金利は以前に比べて相当低くなっている（2%ぐらい）と思うので、繰上償還をしてはどうか。
- ④ 三位一体改革での国の考え方は、地方に移譲される財源は市に比較して村は少なくする方針で、小さい自治体の権限をなくそうとしているのではないか。
- ⑤ どうして、座談会で示したシミュレーションのように今後交付税が減額になるのか。
- ⑥ 人件費など経常的経費は削減できるのか。

農林業に関する意見等

- ① 農協が合併して規模縮小となり、さらに金融部門が無くなると聞いている。営農部門もなくなるようでは、農家は困ってしまう。
- ② 農林業振興はどのようにするのか。特に林業雇用は深刻だが、今後の環境保全型林業で雇用の創出は可能か。

一部事務組合に関する意見

- ① 消防組合への負担金は、交付税措置された金額の60%のさらに85%が負担金なので町村への影響はそれほど無いのではないか。
- ② ゴミ処理は、今までどおりやってもらえるのか。
- ③ 老人ホームに係る町村負担金は、美作市が誕生したことに伴い均等割の負担金が増えるのではないか。

役場の体制等に関する意見等

- ① 役場職員の3人の内1人は、各地区（地域）の地域づくり等に携わるような人員配置と補助事業等で、地区が自由に使える事業など考えられないか。
- ② 職員数の減少は、行政サービスの低下に繋がる。
- ③ 役場職員の研修とはどのような内容のものなのか。
- ④ 役場の体質も企業的な経営感覚が必要ではないか。
- ⑤ 岡山県が地方振興局の再編を行っているが、県からの事務委譲に伴い小さい村は職員の業務が増加するなど不利ではないか。

その他

- ① 西栗倉村は、岡山県の北の玄関であり小さくても発展する可能性はあると思う。
- ② あわくら荘をどうにかしてほしい。（職員の対応、料理等）
- ③ 「特区」について、西栗倉村としては「特区」に取り組み、規制緩和を活用していろいろな事業を展開する計画はあるのか。
- ④ 生ゴミ処理に伴う（焼却）温暖化対策や生ゴミに群がる野生有害鳥獣への対策はどうなっているのか。
- ⑤ 姫烏線は、あわくらんどを取り囲むように設計変更してほしい。
- ⑥ 少子化問題が深刻になっているが、外国との姉妹縁組をして嫁さん探しをしてはどうか。
- ⑦ 森の村振興公社の将来が心配だ。また、公社職員は公務員感覚ではダメだ。
- ⑧ 助役・収入役・教育長が現在不在だが、今後も三役を置かない予定なのか。
- ⑨ 新しく創設された岡山県森づくり県民税の恩恵は西栗倉村にもあるのか。
- ⑩ 熊が多数目撃されているが、熊対策はどう考えてるのか。
- ⑪ 英北のゴミ処理施設はあと4年ほどで満杯になると聞いている。西栗倉村独自で施設を整備しなければならない状況になるのではないか。
- ⑫ 「広報にしあわくら」について、村長の考えや施設や事業等の説明などをもっと載せるべき。報道委員会の活動をもっと活発にするべき。
- ⑬ これからは、村民一人一人が、もっと負担していくべきである。
- ⑭ 村議会議員の定数は、今後も現行どおりでいくのか。
- ⑮ 高速道路の整備により鳥取・兵庫が近くなるが、早期の実現を要望する。

地区座談会が

～たくさんのご意見やご提言

10月25日から11月15日までのほぼ20日間に渡って行いました座談会には、晩秋ということで肌寒さも増してきたにもかかわらず、各地区多数のみなさんの参加をいただき、延べ270人もの村民の皆さんと西栗倉村の今後について話し合いがもて、大変ありがとうございました。

今回の座談会は、勝英地域合併協議会を脱会後初めての座談会ということで、単独で今後村政を維持していくために必要な財政的な将来予測や行政の方向性などについて、みなさんの意見などをいただきながら開催いたしました。

会場では、たくさんのご意見や厳しい課題などの提案等いただきました。座談会でいただいたご意見等に対しましては、その場で回答できるものについてはお答えしておりますが、今回の結果報告はいただいた意見などの掲載になっております。いただいたご意見等に対しましては、今後の村政にできるかぎり反映していく考えておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと存じます。

— いただいたご意見等は大きく項目ごとに分類させていただきました —

市町村合併に関する意見等

- ① 合併はしないと決めた。それを今から良かった、悪かったというべきことではない。
- ② 合併から離脱したことで、一部事務組合の負担率が上がるようなことはないのか。
- ③ 「合併をしない」という決定をした時期について、もう少し早く結論を出すべきではなかったか。
- ④ 合併してもしなくても今のままではいられない。今後は知恵を出さなくてはいけない。
- ⑤ 合併しないことでの国・県からの制裁はあるのか。
- ⑥ 前回の合併は、景気がだんだんと良くなっていく途上での合併であったが、今回はどん底で将来への見通しも暗いので、合併しない方がよいのではないか。
- ⑦ 「美作市」も旧美作町は良くなるが、旧大原町・旧東栗倉村は良くならない。
- ⑧ 合併協議会から脱退した本当の理由は何か。
- ⑨ 今回は合併しなかったが、今後その可能性もあり、次の合併は吸収合併になると思うが、良い合併への道は開けているのか。
- ⑩ 村長は合併推進であったはず。それがなぜ8月になって離脱したのか。合併町村の財政状況が悪いのは最初から解っていたはず。
- ⑪ アンケートを実施したが、地区座談会で説明をした後に実施すべきではなかったのか。議会議員も村民に説明する必要がある。アンケートよりも村民の意思がはっきりする住民投票の方が良かったのではないか。
- ⑫ 合併しないとした奈義町には自衛隊、勝央町は工業団地とそれぞれ財源を持っている。西栗倉村には山林があるが現在ではその価値は下がっている。今後どうやっていくかについて、具体的な方針がみえてこない。教育問題、結婚問題など不安である。

医療・福祉に関する意見等

- ① 西栗倉村は、健康対策がうまくいっているというが、単に利用できる病院が近くに無いということではないか。
- ② 国民健康保険の自己負担2割を守ることは、健康づくりの面や社会保険との関係で本当に良いことだろうか。
- ③ 社会保険の人もいずれは国民健康保険に加入する。互助精神は大切。

教育に関する意見等

- ① 幼稚園、小学校はどうなるのか。人間形成に大切な時期ではあるが、児童・生徒数が少ないのは問題ではないか。
- ② 教育現場での少子は現実の問題であり、教育委員会で検討してほしい。
- ③ 小学校までは、西栗倉村でおこない。中学校は、英北地域で考えてもらいたい。
- ④ 高校は、昔はどこへでも行けた。佐用、智頭に通学できたら便利がいい。
- ⑤ 教育に係る保護者の負担について、所得が伸び悩む中、教育負担は年々増加しており、今後ますます増加するのではないか。
- ⑥ 高校への通学に対して村として支援策等考えているか。

災害に関する意見等

- ① 風倒木について、自分ではどうにもできないため行政で何とかならないか。
- ② 谷川が台風等で荒れて治山堰堤が土石流でいっぱいとなっており、オーバーフローしているがどうにかできないか。
- ③ 台風で多くの河川が荒れているがどのような対策を取るのか。
- ④ 災害情報等を携帯電話にメールで配信できないか。
- ⑤ 昔は採草地や薪炭備林があって保水能力等ありよかったが、現在は人工林で杉・檜ばかりとなり、保水能力がな